

# 短期予報解説資料 2025年7月27日03時40分発表

気象庁

## 1. 実況上の着目点

- ① 黄海と日本の東に高気圧が停滞。
- ② 500hPa 5820mの強風軸に対応し北海道付近にのびる気圧の谷の影響で、北日本では激しい雨を観測。
- ③ 沖縄本島地方を北東進する熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で、南西諸島では猛烈な雨を解析、雷を検知。周辺では、強い風が吹き海上はうねりを伴いしけている。
- ④ 台風第9号は、27日3時に大型で強い台風となり、マリアナ諸島を北北東進。

## 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項③の熱帯低気圧は、27日は南西諸島付近に停滞、28日は、進路を西よりに変えて華中の沿岸に進む。九州南部では27日は、南西諸島では28日にかけて、熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。また、熱帯低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、うねりを伴い波が高くしける所がある。強風や高波に注意。
- ② 1項①の黄海付近の高気圧は、28日にかけてほとんど停滞。日本の東の高気圧は29日にかけて、本州付近に中心を移す。本州付近は29日にかけて晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症など健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、気温の上昇と高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で、午後は山沿いを中心に大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項②の気圧の谷は、29日にかけて停滞し、28～29日は、500hPa 5820m付近のトラフに対応する低気圧が、北海道地方を通過する。気圧の谷や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定になり、雷を伴い激しい雨の降る所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 1項④の台風第9号は、29日にかけて小笠原近海を北上。小笠原諸島では、次第に風が強くなり、うねりを伴い波が高くなる。28～29日は、非常に強い風が吹き、海上はしけが続く。また、大気の状態が不安定になり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。強風や高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

**4. 防災関連事項 [量的予報等]** ① 雨量(06時からの24時間)：奄美180、九州南部150、沖縄120mm。② 波浪(明日まで)：九州南部・奄美5、沖縄・九州北部4、四国3m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。全国的に、注意報基準を超過する所がある。

**5. 全般気象情報発表の有無** 「大雨と雷及び突風に関する全般情報」と「台風第9号に関する情報(総合情報)」を5時頃に発表予定。



主要じょう乱解説図